

令和3年2月に市立高等学校・専門学校改革基本計画（素案）が示されて以降、必由館高等学校においては、改革内容と実現性及びその影響等について、教職員、生徒、同窓会がそれぞれの立場で検討を行ってきた。本報告では、令和3年8月までの検討状況について報告するものである。

今後、教職員、生徒、同窓会間で協議を行い、必由館高等学校としての対案を作成し、教育委員会に提案する予定である。

## 1 教職員の意見

改革基本計画案の趣旨・方向性について理解しており、改革の必要性は認識しているが、以下の提案を行いたいと考える。

### (1) 提案の背景

- ① スケジュールについて（基本計画案：高校、附属中学校ともに令和5年4月開校）
  - ・大学入試制度の動向も踏まえ、準備・検討期間が少なくともあと2年は必要
  - ・大学入試大綱が令和5年6月に示される予定であること、新教育課程の教科書（2・3年生用見本本）が令和4年6月頃にしか学校に届かないことから、開設する科目等の検討が十分にできない。
- ② 学校の規模（高校の1学年の生徒数…現行：360名→基本計画案：210名（150名減））
  - ・少人数指導と一定の学校規模維持を両立できる生徒数とするべきではないか

### (2) 提案

#### ① 教育理念

必由館高校は、学業や文化活動、スポーツなど、多様な個性を伸ばし、生徒の幅広い進路希望や興味関心に応じた主体的な学びを実現する学校とする。また、「SDGs 未来都市」としての熊本市の取組に関する学習など、地域理解を深める探究学習を実施する。

これらに加え、現在の教育の特色も踏まえ、必由館高校における教育理念を「文武両道の校風のもと、多様な個性を尊重しながら主体的・探究的に学ぶ生徒を育成する」と定める。

#### ② 学科・設置形態について（原案：その他の専門学科 ⇒ 提案：新たな普通教育を主とする学科）

9クラス 360名（40人学級）

9クラス 315名（35人学級）

普通科	普通 6クラス（240名）
	国際コース 1クラス（40名）
	芸術コース 1クラス（40名）
	服飾デザインコース 1クラス（40名）

総合探究科 (仮称)	総合探究コース（仮称）7クラス（35名×7=245名） 2年次：進路希望に応じた基礎科目選択 3年次：進路の希望や興味関心等に応じてクラス（類型）分け 【例：国際探究、人文探究、サイエンス探究、文理総合 等】
	芸術コース（仮称） 1クラス（35名） （音楽、美術、書道の3系）
	生活デザインコース（仮称） 1クラス（35名） （衣食住に関する学びを深めるコース）

※少子化の進展等に応じて、段階的な30人学級移行を検討

#### ③ 併設中学校の新設検討について

・市立高等学校等改革検討委員会答申（令和2年3月）では「設置するかどうかも含め、小中学生をはじめとする市民のニーズを詳細に分析し、適切に判断されるようお願いする」と記載されていること等から、改革による高校の特色が明らかになった後に改めて設置ニーズの詳細調査等を実施し検討する。

## 2 生徒の意見

### (1) 熊本市立必由館高等学校再編について、全校生徒アンケート

生徒会が主体となって行った全校生徒アンケート結果は以下のとおり（令和3年7月6・7日実施）

#### ① 抜本的改革の必要性、生徒数、クラス人数（少人数学習）、コースについて

A	現状のまま	40人×9クラス(計360人)	(普通科 普通コース 国際コース 芸術コース 服飾デザインコース) …	824人
B	抜本的改革	30人×7クラス(計210人)	(グローバル探究科 芸術探究科) 教育委員会の抜本的な改革に賛成) …	22人
C	時代に応じた	少人数学習の良さや熊本県全体の少子化などを考えて、新しい案を提案する…	100人	(未記入3人)

#### ② 附属中学校（系列学校）の必要性

A	現状のまま、高校のみで良い…	921人
B	抜本的改革・中学校を作り、中高一貫校にする。…	16人 (未記入7人)

#### ③ 探究学習の時間について

A	現状のままのカリキュラムで良い。…	741人
B	抜本的改革・探究学習が中心の学校にする。…	41人
C	新しい案として、AとBの間くらいと提案する。(例えば、週に6～8時間、月・水・金の午後は探究学習の時間にする) …	156人 (未記入10人)

#### ④ 校則について

A	生徒が主体的に学校づくりに参画する学校を目指すことに賛同する。…	908人
B	生徒が主体的に学校づくりに参画する学校を目指すのは難しいから、教員主導の学校の方が良い。…	17人 (未記入22人)

### (2) アンケートの結果を踏まえて、必由館高校生徒の想いとして示す基本的な姿勢

抜本的な改革を望んでおらず、今のままの必由館高校が良い。

## 3 同窓会の意見

- 市教委の改革案に対して、趣旨・方向性については、概ね賛成する。
- ただし、必由館高校の改革については、中高一貫化を取りやめてほしい。
- 在校生徒数の減少によって、部活動の衰退等、学校の活力がなくなることが懸念されるため、少人数学級のあり方についても再考を求める。
- 教職員や生徒会の案を見て、今後、一緒に考えていきたい。

## 4 今後のスケジュール（予定）

令和3年 9月	・教育委員と教職員・生徒・同窓会との意見交換会開催
令和3年10月	・教職員・生徒・同窓会で学校案の作成のための会議
令和3年11月	・定例教育委員会会議報告（学校案報告）
令和3年12月	・第4回定例会教育市民委員会所管事務報告（学校案報告）
令和4年 2月	・定例教育委員会会議報告（基本計画（素案）報告）
令和4年 3月	・第1回定例会教育市民委員会所管事務報告（基本計画（素案）報告） ・パブリックコメント実施
令和4年 5月	・定例教育委員会会議報告（基本計画（案）及びパブリックコメント報告）
令和4年 6月	・第2回定例会教育市民委員会所管事務報告（基本計画（案）及びパブリックコメント報告） ・定例教育委員会会議（基本計画策定）